

令和 2 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

1 事業報告の概要

令和2年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画」の1年次の取り組みをもとに推進してきました。ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、活動にも大きな影響を及ぼし、未執行业業や縮小した事業がありました。

地域からは、他者との接触を避けて閉じこもり傾向になり運動機能低下等がみられ、サロン事業の再開を望まれる声が届いていました。コロナ禍の中での健康維持や活動の模索を行っていく必要があります。

津別町は、高齢者の一人暮らしや夫婦世帯が多い高齢化の課題と、何らかの理由でひきこもり状態になっている方など、制度の狭間で孤立状態になっている方の存在も明らかになり、平成27年度から町と連携し取り組んでいる「地域相互支援型自治体推進モデル構築事業」から、平成30年度に国のモデル事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業として、「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を町と連携し、身近な福祉相談所「ほっと」の活動を進化・拡大させつつ、町内での全世代型の包括的支援体制構築に取り組んできたところです。

また、令和2年社会福祉法改正により新たに創設された「重層的支援体制整備事業」を令和3年度から町と一緒に進めていくため、実施計画策定に取り組んできました。

令和2年度の基本方針を「個を地域で支える・個を支える地域をつくる」を重点に置いてきました。地域住民との協働による地域の総合相談拠点の整備や手をつなぐ育成会等との「豆のわプロジェクト会議」として青大豆の栽培など、地域と連携しながら、「助け合い見守りで 安心して住み続けられるまち つべつ」を推進してきました。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

2 重点項目

1. 総合相談機能の充実

(1) あんしん生活サポートセンターほっとの運営

平成26年10月に設置したあんしん生活サポートセンターの活動は6年目に入り、権利擁護や生活困窮の相談窓口として、関係機関や地域の中に定着しつつあります。

令和2年度末には、市民後見人が個人受任しているケース5件、社会福祉協議会の法人後見10件と増えてきています。このケースに市民後見人13人が後見活動を担っており、市民後見人が果たす役割が益々増えてきています。また、北海道社会福祉協議会から受託している日常生活自立支援事業の利用が1件、津別社協

独自の通帳預りサービス「ほっと暮らしサポート事業」が6件と、成年後見制度の利用と合わせ権利擁護事業を一体的に担ってきました。

研修関係では、市民後見人養成研修を実施し、10人の受講者により、これまで3回の受講者と合わせて45人の修了者となりました。町内の市民後見人フォローアップ研修は、開催しましたが、管内の市民後見人活動交流会は、コロナ禍の影響により中止となりました。

(2) 地域相互支援型自治体推進モデル構築事業の推進

平成27年度から始まった大阪市立大学と北海道総合研究調査会（HIT）との研究事業は6年目を迎え、旭町第3、活汲中央、豊永第3・緑町第2自治会の4地域で身近な福祉相談所ぽっとを開設。月1～2回、地域の担い手と町・社協職員とが連携し、地域の相談拠点としての取り組みを行ってきました。

こうした地域の要支援者の見守りなどの活動は、予防福祉として国が推し進めようとしている地域共生社会に向けて「住民相互の支え合い機能の強化」を、津別は先んじて取り組んできたことでもあります。

また、この活動の延長線上の取り組みとして、ひきこもり者の支援に関わる中で、社会的孤立者の居場所づくりや社協あぐりの展開など、次へのステップになってきています。課題も山積している現状ですが、令和2年度から障がい福祉サービス事業所との「豆のわプロジェクト会議」の活動による地域との連携が創られてきております。

今年度も、国のモデル事業である「我が事・丸ごと」地域づくり推進事業を町が受託し、多機関協働による包括的支援体制構築事業ネットワーク会議に社協も積極的に加わり、今年度は3回の開催でしたが、世帯全体の複雑化・困難化した事例の課題を受け止める包括的な相談体制づくりを推進してきたところです。

2. 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

- ・サロン活動では、本年度共和第2自治会で新たに活動が開始となり、町全体では地区サロン10地区、運動サロン2地区、合計12地区でサロン活動が展開されています。例年10月には、「サロン交流会」を開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止しておりますが、新規サロン立ち上げ支援や運動サロンの拡大のために、おためし会を2回開催してきました。
- ・「命のバトン」の取り組みは、4自治会で取り組まれています。今後も、出前講座や自治会での説明などを通して命のバトンの取り組みを拡大していきます。
- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者の見守り活動や防災訓練時の災害時要支援者の把握など、自治会の取り組みが進められています。
- ・福祉委員の見直しについては、今年度も自治会連合会の協議までには至っていません。今後の課題になっています。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

平成 28 年 1 月から導入した介護予防いきいきポイント事業は、着実に地域の中に広まりつつあり、始めてボランティア活動に加わる人もいる等、住民同士の支え合いと共に新たなボランティアの発掘にも寄与しています。令和 2 年度は、9 月に登録者事前研修（フォローアップ研修含む）を開催し、新たに 6 人が加わり年度末の登録者は 161 人になっています。

令和 2 年度のポイント交換者は、新型コロナウイルス感染症の影響から 70 人、179,500 円（元年度 95 人、244,000 円）となりました。今後も、人口の 1 割（500 人）の登録者を目指し取り組みを進めていきます。

3. 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援コーディネーターの活動と生活支援体制整備事業への取り組み

介護保険法改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業は、住民主体となる通所介護の体制づくりの課題が残っています。平成 29 年度からこの課題に取り組む生活支援コーディネーター業務を町から受託し、生活支援体制整備協議体の運営や生活支援サポート事業の着実な運営に向けた取り組みを進めてきました。

(2) 生活支援サポート事業の推進

要介護認定者や総合事業対象者などの軽度者を中心とする家事支援を行う「生活支援サポート事業」は、今年度サポーター登録者養成研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、サポーターフォローアップ研修は 9 月に実施しました。。本年度末では、サポーター登録者 81 人（前年度と同数）、実活動サポーターは 33 人、延活動者は 83 人でした。

この事業の実利用登録者は 34 人、延利用人数が 78 人となりました。活動内容は、お話し相手、ゴミだし、窓ふき、風呂場清掃、カーテンレール修理などです。サポーターの商品券換券は、7 人、9,000 円でした。

(3) 福祉有償運送事業の取り組み

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成 29 年 7 月から開始。事業登録者は令和 2 年度末で 269 人（要介護高齢者 242 人、障がい者 27 人）、実利用者も毎月 50 人を超える利用があり、定着した在宅福祉サービスになっています。

令和 3 年 2 月に 24 時間テレビからの寄贈車が増え、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（計 3 台）として現在、フル活動しております。現在、登録車両 4 台（1 台は予備）で登録運転手 9 人（うち社協職員 4 人）がいますが、利用者の増から車両・運転手の確保など課題を整理しながら、住民の要望に応じていくこととします。

(4) 認知症地域支援推進員の活動

地域における認知症の人とその家族を支援するため平成 29 年度から「認知症地域支援・ケア向上事業」を町から受託し、認知症地域支援推進員を配置し活動を行っています。平成 30 年 9 月から始めた「ちょこっと茶屋（認知症カフェ）」は、新型コロナウイルスの影響により、9 月に作業療法士からの講話と体操を行ったのみで、4 回出前カフェを実施したところです。認知症の啓発活動として、町の図書室の協力のもと本特設コーナーを設置してきました。

認知症の人にやさしいお店登録は、今年度 6 店の増で、現在 13 店舗の登録となりました。

今後も、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため町や関係機関と連携して取り組んでいきます。

(5) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便の事業を推進することができました。

4. 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

今年度は、平常時における災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保などの検討ができませんでした。次年度の課題となります。

5. 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 老人クラブ連合会事務局の取り組み

老人クラブ連合会事務局が社協に移行となり 4 年目。今年度も総会で確認した事業について、滞りなく実施をしてきました。令和 2 年度は、12 クラブ・382 人の会員ですが、年々会員数の減少が続いているのが現状です。引き続き会員増強に向けた取り組みや会員間の交流を中心に活動充実を図ります。

(2) 庁舎等建設に伴う協議について

令和 3 年 3 月の完成に向け、都度町と事務レベルでの協議を行ってきています。8 月には、社会福祉協議会職員全体に説明会が開催され、今後の仕様等についての説明が行われてきました。

(3) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年 4 回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、日常の社協活動についてはフェイスブックを活用するなど SNS（ネットワークサービス）の利用も図ってきました。

(4) 事務局体制の整備

令和 2 年度は 4 月時点で 5 名体制ですが、令和 3 年度には新庁舎で町保健福祉課とワンフロアになることで、総合相談の窓口を担うこととなり、町との協議を行い事務局職員の増員となります。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

令和2年11月2日（月）原田会長、山内、篠森副会長 事務局2名
令和3年2月19日（金）原田会長、山内、篠森副会長 事務局1名

■理事会

第1回 令和2年5月29日（金） 13:30 ～ 14:40
出席者 理事12名 監事1名
第2回 令和2年9月4日（金） 14:00 ～ 15:00
出席者 理事11名 監事2名
第3回 令和2年12月3日（水） 14:00 ～ 14:30
出席者 理事11名 監事2名
第4回 令和3年3月11日（木） 9:30 ～ 10:40
出席者 理事11名 監事2名

■評議員会

第1回 令和2年6月15日（月） 13:30 ～ 14:40
出席者 評議員12名、会長、副会長2名 監事1名
第2回 令和3年3月25日（木） 14:00 ～ 15:5
出席者 評議員8名、会長、副会長2名 監事2名

■評議員選任解任委員会

第1回 令和2年6月1日（月） 出席者 委員4名

■在宅福祉サービス推進委員会・ボランティアセンター運営委員会（合同会議）

第1回 令和2年6月4日（木） 14:00 ～ 15:00
出席者 在宅委員5名 VC委員8名 事務局2名
第2回 令和2年11月27日（金） 10:00 ～ 10:45
出席者 在宅委員5名 VC委員6名 事務局2名

■歳末支援金配分委員会

第1回 令和2年12月7日（月） 10:00 ～ 10:20
出席者 委員4名 事務局3名

■内部監査

第1回 令和2年5月19日（水） 9:30 ～ 決算監査 監事2名
第2回 令和2年7月29日（水） 9:20 ～ 第1四半期 監事2名
第3回 令和2年10月28日（水） 9:30 ～ 第2四半期 監事2名
第4回 令和3年1月29日（金） 9:30 ～ 第3四半期 監事2名

町内研修会・会議・打合せ等

■定例民協（原則毎月第2木曜日） 出席者 山田局長

■町福祉課と社協の地域福祉関係連絡会議

令和2年5月27日（水）町8名、社協2名

- 社協事業（令和元年度）実績町長報告
令和2年6月2日（火） 原田会長、山田局長、門脇次長

- 地域公共交通活性化協議会
 - 第1回 令和2年6月23日（火） 14：30 ～ 16：00 門脇次長
 - 第2回 令和2年7月28日（火） 14：30 ～ 16：00 門脇次長
 - 第3回 令和2年9月11日（金） 14：30 ～ 16：00
 - 第4回 令和2年10月28日（水） 14：30 ～ 16：00 門脇次長
 - 第5回 令和2年11月26日（木） 16：00 ～ 17：30 門脇次長

- 第70回社会を明るくする運動津別町推進委員会
令和2年6月26日（金） 原田会長

- 町理事者へ令和3年度主要事業プレゼンテーション
令和2年7月10日（金） 山田局長、門脇次長

- 道社協市町村社協事業検討委員会（リモート会議）
 - 第1回 令和2年7月29日（水） 社協会議室 山田局長
 - 第2回 令和2年9月16日（水） 社協会議室 山田局長
 - 第3回 令和2年12月9日（水） 社協会議室 山田局長

- 厚労省重層的支援体制整備事業オンライン意見交換会
令和2年7月30日（木） 社協会議室 山田局長

- 重層的支援体制整備事業に係る町保健福祉課と勉強会
令和2年8月6日（木） 出席者 山田局長、門脇次長、立花係長、寺尾主事

- 重層的支援体制整備事業オンライン意見交換
（アドバイザー：大阪市立大学 野村准教授、HIT 切通部長）
令和2年8月21日（金） 出席者 山田局長

- オホーツク総合振興局社会福祉法人運営指導
（訪問介護事業所、障害福祉サービス事業所含む）
令和2年8月25日（火） 振興局3人、山田局長、門脇次長

- 重層的支援体制整備事業オンライン意見交換
令和2年8月31日（月） 出席者 山田局長、立花係長

■農福連携に係る役場保健福祉課・農政課と打ち合せ
令和2年9月7日（月） 出席者 山田局長

■重層的支援体制整備事業実施に係る職員説明会
令和3年1月22日（金）
出席者 山田局長、門脇次長、立花係長、及川主任 寺尾主事

■北海道社会福祉協議会地域部会議（zoom）
令和3年1月29日（金） 出席者 原田会長

■社協活動 web 講座
令和3年2月10日（水） 出席者 立花係長

■高齢者虐待防止ネットワーク会議
令和3年2月17日（水） 出席者 門脇次長

■オホーツク管内社協連絡協議会正副会長会議 web 会議
令和3年2月17日（水） 出席者 原田会長

■オホーツク管内社連協会長・事務局長会議研修会
令和3年3月5日（金） 出席者 原田会長、門脇次長

町外研修会・会議・打合せ等

■福祉教育に関する視察
令和2年6月3日（水）紋別市社協、網走市社協 門脇次長、立花係長

■農福連携視察研修
令和2年9月15日（火）深川市・当別町 参加者 山田局長、門脇次長

■オホーツク管内社連協会長・事務局長会議研修会
令和3年3月5日（金） 出席者 原田会長、門脇次長

津別町ふれあい・いきいきサロン事業

1、地区サロンの開催状況

サ ロ ン 名	開催回数	参加延人員	備 考
高台町ほのぼのサロン	6回	56名	
柏町いきいきサロン	2回	13名	
相生あいあいサロン	10回	97名	・福祉バス利用
本岐地区いきいきサロン	8回	158名	
豊永第4げんきサロン	5回	174名	
東達美いきいきサロン	5回	55名	・福祉バス利用
東町ふれあいサロン	9回	192名	
旭町第3おさんぽ・ぽっと	6回	90名	
活汲おげんきサロン	10回	119名	
共和にこにこサロン	10回	171名	・福祉バス利用
計 10地区	71回	1,125人	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として5月の活動まで開催の自粛をお願いした。その後の再開や休止については、状況を見て各サロンで判断いただいた。

2、地区サロン立上げ支援の状況

- ・10月6日（火）18：00 豊永寿の家
豊永第3自治会役員会（山田局長・寺尾主事）
 - ・支えあいのまちづくりに向けた津別町の現状報告
 - ・ふれあい・いきいきサロン事業実施に向けた説明

3、運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
5月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
6月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	23人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	27人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	11人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	9人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
計	18回	180人	

②西町さわやか健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
5月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
6月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	19人	スタッフ
10月	2回	25人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	10人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
計	19回	194人	

③運動サロンおためし会の開催

- ・令和2年10月15日(木) 13:30~15:00

会場：西町寿の家

講師：高間和宏 運動指導士 (Balance up time)

参加：5名

- ・令和2年10月22日(木) 13:30~15:00

会 場： 共和生きがいセンター

講 師： 高間和弘 運動指導士 (Balance up time)

参 加： 7名

4、サロン担当者会議の開催

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として開催を中止。

当面のサロン活動自粛要請と、各種報告書等の提出について、文書の発送をもって依頼したところである。

例年は各サロンから2~3名ずつ出席いただき、活動状況等の意見交換や事務局からの連絡事項を伝えている。

5、サロン交流会の開催

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として開催を中止。

例年10月に、町内サロン参加者の交流とサロン内容の充実、拡大を目的にサロン交流会を開催している。音楽を活用した交流や自宅でもできる軽運動などのプログラム、日赤奉仕団の協力を得た会食交流を実施し、近年では140名程が参加する事業となっていることから、ウイルス感染のリスクを考慮し開催中止の判断とした。

6、新型コロナウイルス感染防止対策の注意喚起について

- ・令和2年5月
感染防止ガイドライン（サロン編、会食編）を作成し、感染防止対策の徹底をお願いする。
- ・活動報告に合わせ、参加者名簿の提出も改めて依頼する。
- ・令和2年11月
道内新規感染者が増加傾向にあることに伴い注意喚起チラシを作成し、再度感染防止対策の徹底をお願いする。

津別町介護予防いきいきポイント事業

1. ボランティア登録者の事前研修、並びにフォローアップ研修の開催

登録者事前研修及びフォローアップ研修

日 時 令和2年9月10日（木）午前10時～12時

場 所 津別町中央公民館 講堂

内 容 講演「コミュニケーションはキャッチボール」

講師 姉 帯 美和子 氏

（MIW工房 コミュニケーションナビゲーター）

事業説明（事務局）

2. 介護予防いきいきポイント登録者の管理

【 令和2年度末登録者数 】

（年齢は登録時 単位：人）

年 齢	男	女	計
65歳以上	31	68	99
64歳～40歳	15	41	56
40歳未満	2	4	6
合 計	48	113	161

《 参考 令和元年度末登録者数 》

年 齢	男	女	計
65歳以上	29	64	93
64歳～40歳	12	42	54
40歳未満	2	5	7
合 計	43	111	154

令和2年度は、新規登録者が6人（男1人、女5人）増となった。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、登録者事前研修とフォローアップ研修を1回開催した。

3. 介護予防いきいきポイント手帳の作成と登録者への送付
登録者事前研修終了後、新規登録者6人（男1人、女5人）の登録を行い、介護予防いきいきポイント手帳を送付した。
4. 指定施設の取りまとめとボランティアの提供支援
(1) 指定施設 (町内8事業所)
- ・社会福祉法人恵和福祉会 特別養護老人ホームいちいの園
 - ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町デイサービスセンター
 - ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町居宅介護支援事業所
 - ・社会福祉法人津別福祉会 ケアハウスつべつ
 - ・グループホームほのぼの
 - ・小規模多機能ホーム 夢ふうせんのか
 - ・津別町地域包括支援センター
 - ・社会福祉法人 津別町社会福祉協議会
5. 登録者のボランティア活動への支援
給食サービス配達ボランティアに令和3年度の活動継続意向と改善点のアンケート調査を実施。配達開始時間の意見などあり、改善を行った。
6. 評価ポイントの管理と換券手続き支援

(1) 令和2年度換券者数と換券金額 (単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	28	74,500	41	100,000	69	174,500
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	29	79,500	41	100,000	70	179,500

※社協財源該当者は、40歳未満登録者の活動分

《 参考 令和元年度換券者数と換券金額 》 (単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	30	84,000	64	155,000	94	239,000
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	31	89,000	64	155,000	95	244,000

(2) 令和2年度換券者の活動内容

活動内容	人数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	30	384	21.4
給食サービス	23	573	31.9
社協事業 (集い他)	55	765	42.6
サークルぴゅあ	1	1	0.1
絵手紙	3	38	2.1
託児	1	2	0.1
特養いちいの園	5	14	0.8
デイサービスセンター	2	3	0.2
グループホーム	1	1	0.1
ケアハウス	4	14	0.8
小規模多機能ホーム	0	0	0
介護予防教室	0	0	0
合計	125	1,765	100.0

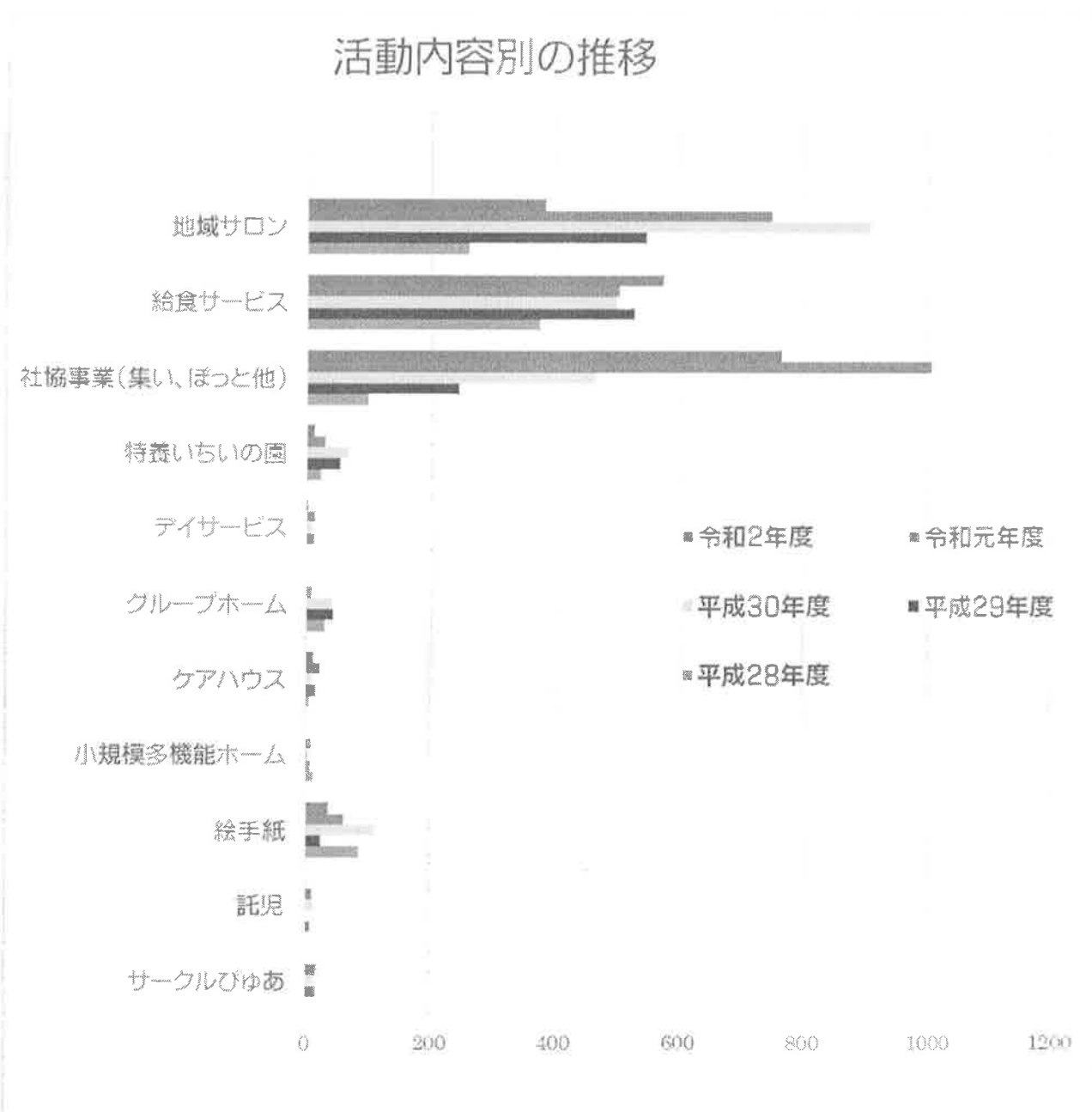
《 参考 令和元年度換券者の活動内容 》

活動内容	人数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	48	748	30.6
給食サービス	22	502	20.6
社協事業 (集い他)	68	1,004	41.1
サークルぴゅあ	3	21	0.9
絵手紙	4	62	2.5
託児	5	12	0.5
特養いちいの園	9	31	1.3
デイサービスセンター	7	15	0.6
グループホーム	8	10	0.4
ケアハウス	11	24	1.0
小規模多機能ホーム	7	9	0.4
介護予防教室	1	2	0.1
合計	193	2,440	100.0

令和2年度は、前年度と比較してこの活動に参加し換券した人数は68人で35.2%減、時間（ポイント）も27.7%減になっている。令和2年1月からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため社協事業や地域サロンの自粛、施設の面会制限など様々なボランティア活動に制限があり、換券人数、換券ポイントの減少になったと思われる。

今後は新型コロナウイルスの感染拡大防止をしながら、ボランティアの発掘も含めて活動を継続していきたい。

活動内容で前年度と比較したのが次のグラフである。



津別町あんしん生活サポートセンター事業実績報告

(1) 成年後見制度等に関する相談及び利用支援

1) 相談内容（実人数の件数）

相談内容	件数
成年後見（申立て含む）	3
福祉資金貸付	5
金銭管理	5
虐待事案	1
生活困窮	0
ひきこもり支援	0
生活不安	0
その他	3
合計	17

2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成25年5月	76歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
平成28年8月	76歳男性	保佐	大場建男・貝沼由利	施設
平成30年2月	88歳男性	保佐	山本靖博・井村ゆかり	施設
令和元年5月	81歳男性	保佐	相馬由紀子 (津別社協との複数後見)	在宅
令和2年10月	74歳男性	保佐	中田千津子 (津別社協との複数後見)	在宅

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成27年5月	95歳女性	後見	鴫田裕子	施設
平成28年2月	90歳女性	後見	清水恵	施設
平成29年4月	87歳女性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成29年7月	76歳男性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成30年1月	92歳女性	後見	中山静男	施設⇒死去
平成30年12月	92歳男性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成31年1月	87歳男性	後見	土屋昇・土屋けい子	在宅⇒施設
令和2年1月	83歳男性	後見	(未委嘱)	施設⇒死去
令和2年7月	81歳女性	保佐	(未委嘱)・弁護士	在宅⇒施設
令和3年1月	79歳男性	保佐	(未委嘱)	在宅

3) 申立支援状況

受 任 月	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和2年7月	81歳女性	保 佐	津別社協・弁護士	施 設
令和2年10月	74歳女性	保 佐	津別社協・市民後見人	在 宅
令和3年1月	79歳男性	保 佐	津別社協	在 宅
令和3年2月	78歳女性	保 佐	親族後見人等（長男）	施 設
令和3年3月	78歳女性	後 見	（後見人候補者 長男）	施 設

(2) 成年後見制度等に関する広報及び啓発
視察対応等

日 時	視 察 依 頼 先	担 当
令和2年9月12日 （土）	鷹栖ソーシャルワーカー懇談会	山田・寺尾
令和2年9月17日 （水）	北星大学学生による 市民後見人活動インタビュー対応	山田 山本市民後見人
令和2年10月21日 （木）	訓子府町成年後見業務に係る視察研修	山田・立花

(3) 市民後見人の養成及び実務等研修の実施

1) 第4期津別町市民後見人養成研修

令和2年10月3日（土）～令和2年11月10日（火）全10回
修了者 10名 登録者 8名

2) 津別町市民後見人フォローアップ研修

①令和2年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

令和2年11月8日（金） ⇒新型コロナウイルス
感染拡大防止のため中止

②受任者対象

令和2年8月18日（火）町民会館 大会議室
内 容 活動報告、事例発表、意見交換 など
参加者 受任者5名 町1名 事務局3名

③養成研修修了者

令和2年10月5日（木）林業研修会館 集会室
講 義 「成年後見実務と事例検討」
講 師 一般社団法人ジャスミン権利擁護センター
代表理事 水戸由子 氏

参加者 市民後見人10名 事務局3名

令和3年2月15日（月）林業研修会館 集会室 ※オンライン研修

講 義 「本人の意思を尊重する支援とは
～本人らしい生活を支えるためにできること その1～」

講 師 法テラス埼玉法律事務所 シニア常勤弁護士 水島俊彦氏
参加者 市民後見人10名 介護事業所3名 町3名 事務局2名

- (4) 市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人への活動支援
- 1) 市民後見人候補者の登録
第4期市民後見人養成研修修了者8名が登録（総登録者31名）
 - 2) あんしん生活サポートセンター受任調整会議
 - 第1回 令和2年4月13日（月） 社会福祉協議会 会議室
出席者 委員4人、事務局3人
審査案件 1件 申立の審議
報告案件 1件 申立・受任後の経過報告
 - 第2回 令和2年8月7日（金） 社会福祉協議会 会議室
出席者 委員4人、事務局2人
審査案件 1件 申立の審議
報告案件 1件 前回審議案件の報告
 - 第3回 令和2年12月21日（月） 社会福祉協議会 会議室
出席者 委員3人、事務局2人
審査案件 1件 申立の審議
報告案件 1件 申立後の経過報告
 - 3) 市民後見人の適正な活動のための支援
市民後見人から、本人の認知面の低下から今後在宅での生活が厳しくなると思われるので施設の申し込みを検討したいと相談があり、介護認定の申請など地域包括支援センターへ繋ぐなどの対応を行った。
- (5) 成年後見制度等に関する関係機関等との連携
- 1) オホーツク管内権利擁護センター情報交換会
⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - 2) 多機関の協働による包括的支援体制構築に伴う津別町プロジェクト会議
令和2年10月15日（木） 参加者 山田局長 立花係長
令和3年2月4日（木） 参加者 立花係長
令和3年3月29日（月） 参加者 立花係長
 - 3) 虐待対応ケース検討会議
令和2年8月27日（木） 参加者 山田局長 立花係長

津別町生活支援サポートセンター事業

1、生活支援サポーター研修の開催

生活支援サポーターフォローアップ研修

令和2年9月10日（木） 14：00～16：00 中央公民館 講堂

講義「気持ち伝わるコミュニケーションとは？」

講師 姉帯 美和子 氏（MIW工房 コミュニケーションナビゲーター）

参加者 15名

2、生活支援サポーター登録者の管理

(1) 生活支援サポーター 登録者 81名 実活動者 33名

(2) サポーター登録証、ポイント手帳の配布

養成研修を修了し、登録したサポーター全員に対し登録証と手帳の配布を行っている。

3、サポート事業利用者の管理

(1) 利用登録者数 39名 実事業利用者 8名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間(分)	延べ活動 サポーター数
4月	2	5	150	5
5月	2	4	120	4
6月	2	4	120	4
7月	3	7	240	8
8月	4	7	240	8
9月	3	6	240	8
10月	2	4	120	4
11月	2	5	150	5
12月	2	5	150	5
1月	2	3	90	3
2月	4	11	330	11
3月	6	18	540	19
計	34	79	2,490	84

(3) 活動内容

・お話し相手 ・ごみ出し ・窓ふき ・風呂場清掃 ・カーテンレール修理

(4) チケット利用実績 ・83枚(×100円) = 8,300円

4、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット ・1セット:30分100円×5枚つづり(500円)

(2) 販売実績 ・16セット(×500円) = 8,000円

5、サポーターと利用者のマッチング、活動支援

臨時職員(月10日×4時間)

・利用希望者との面談を行い支援内容の確認 ・利用者からの要望・相談対応
・サポーターとの連絡調整 ・サポーターからの相談対応

6、サポーター登録者の活動への支援

生活支援サポーター交流会

- 令和3年3月24日(水) 14:00~15:40 町民会館 大会議室 参加者13名
- ・事業実施報告
 - ・意見交換会(グループワーク)
 - ・交流会開催にあたり、事前アンケートの実施

7、ポイント管理と換券手続き

- (1) ポイント商品券交換申請者 7名 (2) 換券額 9,000円

津別町生活支援体制整備事業

1、生活支援コーディネート等に関する業務

(1) 住民主体による通いの場の創出

- ①令和2年6月26日(金) 14:00~15:15 林業研修会館

協議体会議、通いの場の検討へ向けた打合せ

(小野課長、仁部補佐、丸尾係長、篠原係長、田屋主事、伊藤主事、山田局長、寺尾主事)

- ②令和3年2月26日(金) 10:00~10:30 役場相談室

令和2年度の進捗状況、令和3年度の方向性について打ち合わせ

(篠原係長、丸尾係長、門脇次長、寺尾主事)

(2) 地域資源の発掘、サロン活動等既存の通いの場への活動支援

- ・地域サロン 10か所
- ・運動サロン 2か所
- ・老人クラブ 12クラブ
- ・自主団体(ボランティア等)活動への参加
- ・サークルぴゅあ例会(年3回)
- (おりづる会、絵手紙サークル、日赤奉仕団、五月会、音楽活動サークル)

①通いの場開催にあたる感染症予防の対策として、ガイドライン、注意喚起ポスターを作成し、感染予防に努めるようお願いする。

②新規サロン検討会や老人クラブ出前講座にて、町内サロン活動等の取り組み紹介実施。社協だより等広報誌を活用し、地域の取り組みについて情報発信を行う。

③支え合いの担い手確保のため、ボランティア養成研修、ボランティア募集を行う。

(3) 関係機関との情報共有、会議等への出席

①介護サービス事業所連絡会議(寺尾主事出席)

- ・令和2年4月10日(金) 会議中止のため、月次報告を提出。
- ・令和2年5月15日(金) 会議中止のため、月次報告を提出。
- ・令和2年6月10日(水)・令和2年7月10日(金)・令和2年8月11日(火)
- ・令和2年12月10日(木)・令和3年3月9日(火)

②在宅医療・介護連携推進会議 第2回作業部会(寺尾主事出席)

令和2年10月22日(木) 10:00~11:00 林業研修会館

・医療、介護連携マップ作成にむけて

③まちづくりセンター運営協議会（寺尾主事出席）

- ・第1回 令和2年4月20日（月）18：30 さんさん館 多目的ホール
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・第2回 令和2年10月19日（月）18：30～19：15 さんさん館 多目的ホール
アイスクャンドル点灯まつりの開催について
- ・第3回 令和3年3月25日（木）18：30～17：00 さんさん館 多目的ホール
令和2年度事業実績報告、令和3年度事業計画

④介護予防動画「健康ちゃんねる☆つべつ」作成への出演協力

日付	活動内容
5 / 15（火）	打ち合わせ
5 / 22（金）	打ち合わせ（かるっちゃ体操）
5 / 25（月）	Vol.1 撮影協力（寺尾主事）
5 / 27（水）	試写会・意見交換
6 / 3（水）	Vol.2 撮影協力（山田局長）
6 / 8（月）	試写会・意見交換
6 / 11（木）	打ち合わせ
6 / 12（金）	Vol.3 撮影協力（山田局長・寺尾主事）
6 / 17（水）	試写会・意見交換

(4) 生活支援サポートセンター事業の実施

生活支援サポートセンター実績報告書へ記載。

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

(1) 津別町生活支援体制整備推進協議体会議の開催

①協議体会議 令和2年7月21日（火）10：00～11：20 構成員18名出席

- ・報告事項
（生活支援体制整備事業の概要とこれまで、通いの場創出の方向性について）
- ・意見交換
（地域の高齢者の暮らしをみて感じること）
- ・協議体構成員の見直しとして、住民代表4名に出席を依頼、3名出席。

②協議体構成員

- ・特別養護老人ホームいちいの園・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町デイサービスセンター ・津別病院 ・グループホームほのぼの
- ・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと
- ・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・柳瀬食品店 ・自治会連合会 ・身近な福祉相談所
- ・市民後見人 ・生活支援サポーター ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香（社会福祉士）
副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり（社会福祉士）

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

(1) 研修日程と内容

- ①令和2年11月4日(水) Zoomによるオンライン研修
・生活支援コーディネーター養成研修 応用編 寺尾主事 出席
- ②令和2年12月14日(月) Zoomによるオンライン研修
・生活支援コーディネーター連絡会議 寺尾主事 出席

5、出前講座、視察対応等

(1) 日程と内容

- ①令和2年6月25日(木) 寺尾主事電話対応
・京極町生活支援コーディネーター(京極社協)と意見交換
- ②令和2年6月30日(火) 寺尾主事電話対応
・日本赤十字看護大学 大倉教授
研究協力(地域活動が町民の健康づくりにつながるのか、要介護認定率への影響)
- ③令和2年9月1日(火) 10:00~11:00 活潑老人クラブ会館
・活潑老人クラブ出前講座(健康講話と地域活動について)
- ④令和2年11月9日(月) 寺尾主事電話対応
・比布町生活支援コーディネーター(比布社協)と意見交換
・生活支援サポート事業について情報提供
- ⑤令和2年12月9日(水) 10:00~11:00 林業研修会館
・家族会ひまわり会講話
- ⑥令和3年1月8日(金) 寺尾主事メール対応
・紋別市生活支援コーディネーター(紋別包括)と意見交換
・生活支援サポート事業について情報提供
- ⑦北海道社会福祉協議会の取組み事例集原稿執筆対応
・津別町における生活支援体制整備事業
～生活支援サポート事業の取組み事例～

障がい者・生活困窮者(ひきこもり者)等の働く場の創出事業

生活困窮者(ひきこもり者等)を対象にした「居場所」の運営

① 開催日時

- ・開催日 現在の定期利用者が2名。
うち1名が生活保護受給者で、保護費支給日には役場福祉係に来るため、それに合わせ毎月の保護費支給日を開所日とした。
- ・開催時間 午前10時から12時

② スタッフ

- ・支援員(元町保健師、ヘルパー資格)2名を雇用。

・町保健師や社協職員など当事者に関わりある者が訪れて交流している。

③ 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	計	備 考
4月3日	2人	2人	2人	6人	
6月1日	2人	2人	3人	7人	
7月1日	2人	2人	3人	7人	
7月31日	1人	2人	1人	4人	
9月1日	2人	2人	2人	6人	
10月1日	1人	2人	1人	4人	
10月30日	1人	1人	1人	3人	
12月1日	1人	2人	1人	4人	
12月28日	2人	2人	3人	7人	
2月1日	2人	2人	1人	5人	
3月1日	2人	2人	1人	5人	
計	18人	21人	19人	58人	

中間的就労の場の確保

④ 社協あぐりの作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
令和2年 4月17日	豆のわプロジェクト会議 (育成会1人、びーと1人、関係者2人、 社協1人、合計5人)	
5月19日	社協あぐり畑ロータリーかけ	大野 権氏
5月29日	青大豆種まき (育成会6人、ボランティア14人、社協3 人、計23人)	種は育成会で 対応
6月22日	草取り作業 (育成会1人、びーと2人、ボランティア 11人、社協1人、計15人)	
7月5日	社協あぐり畑ロータリーかけ	大野 権氏
7月9日	草取り作業 (育成会7人、びーと1人、ボランティア 12人、社協2人、計22人)	
7月15日	草取り作業 (ボランティア10人、社協1人、計11人)	
8月9日	社協あぐり畑ロータリーかけ	丸尾 諭氏
8月12日	大根種まき (ボランティア10人、社協2人、計12人)	種購入
9月1日	大根間引き、草取り作業 (ボランティア11人、社協1人、計12人)	

9月11日	枝豆収穫祭 (育成会12人、びーと2人、ボランティア7人、その他1人、社協1人、計23人)	
9月18日	豆のわプロジェクト会議 (育成会1人、びーと1人、関係者2人、社協1人、合計5人)	
10月20日	青大豆豆刈り (育成会8人、びーと1人、ボランティア13人、社協2人、合計24人)	
10月22日	大根収穫 (ボランティア10人、社協1人、計11人)	
10月24日	青大豆脱穀作業 (ボランティア3人、社協2人、計5人)	
10月26日	青大豆を育成会へ運搬 (9袋・210kg) (育成会1人、社協1人、計2人)	
11月13日	大根粕漬け作業 (ボランティア1人、社協1人、計2人)	4斗樽2つにつ け、居場所に保 管。 漬け物はサロ ンなどで使用 する。
令和3年 2月24日	豆のわプロジェクト会議 (育成会1人、びーと1人、関係者2人、社協2人、合計6人)	

ひきこもり者など支援についての学びと普及啓発

ひきこもり支援者家族むけ学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

津別町認知症地域支援・ケア向上事業

(1) 取組内容

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるような関係機関との連携を図るための取組。

1) 町保健福祉課と打合せ会議の開催 (随時)

- ①令和3年度完成に向けた認知症ケアパス (医療・介護連携マップに記載) について (介護マップ部会への参加)
- ②令和3年度完成に向けた認知症普及啓発に係るクリアファイル作成について
- ③認知症カフェ、出前カフェの開催・運営について

- ④「認知症と共に暮らすまちづくり研修会」について
- ⑤認知症に関する本特設コーナー設置について
- ⑥認知症サポーター養成研修について
- ⑦「認知症の人にやさしいお店」登録店について
- ⑧ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練について

参加者 町保健福祉課 丸尾係長・佐々木主任
 社会福祉協議会 山田局長・及川主任
 事業計画に基づき具体的取り組み内容について協議

2) 認知症の人にやさしいお店登録事業

町の方で実施要綱が整備され、令和元年10月より事業開始となっている。
 令和2年度は、6店増。登録店は、13店舗（令和3年3月31日時点）

	事業所名	登録月	備考
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月	
2	増田呉服店	令和元年10月	閉店
3	津別郵便局	令和元年10月	
4	さんさん館カフェ	令和元年10月	
5	丸玉木材（株）津別病院	令和元年12月	
6	カフェJIMBA	令和元年12月	
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月	
8	本岐郵便局	令和2年3月	
9	JAつべつ	令和2年7月	
10	カフェ&ランチ ちゃのま	令和2年8月	
11	（株）津別総合管理センター	令和2年8月	
12	北見相生郵便局	令和2年10月	
13	道東テレビ	令和2年10月	
14	網走信用金庫津別支店	令和2年10月	
15	オホーツク珈琲舎幾島珈琲研究所	令和3年3月	

3) 認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーター養成講座を計6回実施した。参加者は、計93名。

	日程	対象者	参加者	キャラバンメイト
1	7月15日（水）	JAつべつ	6名	及川
2	7月21日（火）	北見信用金庫 津別支店	3名	及川
3	8月2日（日）	「カフェ&ランチちゃのま」 と有志	4名	及川
4	10月10日（土）	一般町民	64名	西村敏子 (北海道認知症の人を支える家族の会)
5	10月15日（木）	旭町第3自治会 (ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練)	13名	及川
6	10月27日（火）	網走信用金庫 津別支店	3名	及川

(2) 取組内容

当該推進員を中心に地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築する取組。

1) 認知症の人と共に生きる地域づくり研修会の開催

(主催：北海道・北海道認知症の人を支える家族の会)

日 時：令和2年10月10日(土) 13:30~15:30

参加者：51名 スタッフ：15名 計66名

内 容：講演 介護家族の思いと支援について

講師 北海道認知症の人を支える家族の会

事務局長 西村敏子 氏

トークセッション 家族介護者の介護体験

聞き手 津別町地域包括支援センター 丸尾美佐 氏

家族介護者 斉藤美智子 氏 ・ 加藤洋子 氏

津別町の事業紹介

発表者 津別町地域包括支援センター 佐々木祐也 氏

2) 認知症カフェ(ちよこつと茶屋)の開催

3ヶ月に1回、小規模での開催とした。

	開催日	主な内容	参加者	ボランティア	スタッフ
1	6月30日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	-	-	-
2	9月29日(火) 10:00~11:30	津別病院・作業療法士による講話・体操	3名	2名	3名
3	12月22日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	-	-	-
4	3月23日(火)	同上	-	-	-

3) 出前カフェの開催

	開催日	対象者	参加者	ボランティア	スタッフ
1	10月15日(木) 9:00~12:00	ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練 in 旭町第3自治会	13名	1名	6名
2	10月21日(水) 11:00~12:00	高台町・いきいき100歳体操参加者	8名	1名	1名
3	10月28日(水) 11:00~12:00	高台町・いきいき100歳体操参加者	7名	0名	1名
4	11月4日(水) 11:00~12:00	高台町・いきいき100歳体操参加者	7名	0名	1名
以降、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止					

4) ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の実施

日 時：令和2年10月15日（木）9：00 ～ 12：00

対 象：旭町第3自治会

参加者：13名 ボランティア1名 スタッフ6名

内 容：寸劇「トミおばあちゃんの探し物 2020」

メール配信システムと徘徊高齢者検索模擬訓練について

高齢者検索模擬訓練

認知症サポーター養成講座

(3) 取組内容

その他、認知症の人やその家族を支援する取組。

1) 認知症に関する本特設コーナー設置

期 間：令和2年10月1日（木）～ 10月31日（土）

場 所：中央公民館・図書室

内 容：①図書室司書が選定した本の展示・貸出

②認知症サポーターボランティアが作成した認知症キャラバン

マスコットキャラクター「ロバ隊長」の展示

③認知症普及啓発に関するポスターの展示

⑤ 認知症普及啓発に関するパンフレットの配布

2) 認知症に関する本特設コーナー設置に向けたロバ隊長作り

日 時：令和2年8月25日（火）10：00 ～ 14：00

場 所：町民会館

参加者：ボランティア 5名

3) 認知症カフェ運営に伴うボランティアとの打合せ

	開催日	主な内容	参加者
1	9月23日（水）	新型コロナウイルス感染症拡大予防の中での開催について	17名

4) DVDの購入

認知症の人を支える家族を支援する取組として、DVDを購入し認知症サポーター養成講座等で活用した。

①介護家族を支える 公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部

②認知症買物セーフティーネット「家族の声から」

認知症買物セーフティーネット実行委員会

5) ホームページの更新

社会福祉協議会ホームページに、認知症地域支援事業について掲載した。

(4) 取組内容

厚生労働省が示す認知症地域支援推進員研修会を受講し、資質の向上に努める。

1) 認知症地域支援推進員研修

①現任研修 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

②ZOOMを使用したオンライン研修

日時：令和3年3月19日（金）13：00 ～ 16：00

内容：2020年度 認知症地域支援体制推進全国合同セミナー

認知症地域支援体制作りに関する認知症施策担当者による取組報告など

多機関の協働による包括的支援体制構築事業

厚生労働省は、対象者ごとに整備された「縦割り」の公的福祉サービスを「丸ごと」へと転換していくため、サービスや専門人材の養成など進めていくことを意識し、平成29年度より地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業として、「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を推進している。

津別町では、この国のモデル事業を平成30年度から受託し、社協もその構成員の一員として、これまで関わってきた地域相互支援型自治体推進モデル構築事業による身近な福祉相談所ぽっとの関係から、より積極的な参画として活動を展開してきた。

(1) 「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」について

①ネットワーク会議の目的

これまでの「地域相互支援型自治体推進モデル」により「ぽっと」を開設し、住民に身近な圏域の「我が事・丸ごと」で受け止める環境ができつつある一方、町として、さらに「丸ごと」を受け止める専門職や場が必要であるとの認識に基づき、各分野の制度・社会資源、専門性を基礎としながら、包括的な支援体制の構築へとつなげていくことを目的として、「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」（以下ネットワーク会議）を展開することとした。

②ネットワーク会議の実施概要

ネットワーク会議の開催日時と主な協議事項は次のとおり。

回	日時	主な協議事項
第1回	令和2年10月15日 13:30～	・支援困難事例の検討
第2回	令和3年2月4日 14:00～	・支援困難事例の検討
第3回	令和3年3月29日 13:00～	・支援困難事例の検討 ・翌年度からの進め方について

③ネットワーク会議構成メンバー

ネットワーク会議構成メンバーは次のとおり。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体会議は行わず、支援困難事例の検討を行い、困難事例に関係する方に参加を要請した。

- ・津別町保健福祉課
- ・津別町社会福祉協議会
- ・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町特別養護老人ホームいちいの園
- ・津別町デイサービスセンター
- ・津別病院
- ・グループホーム ほのぼの
- ・ケアハウス つべつ
- ・夢ふうせん ののか・ほんき・株式会社 びーと
- ・NPO 法人津別町手をつなぐ育成会
- ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町社会福祉協議会訪問介護事業所
- ・オホーツク総合振興局社会福祉課
- ・オホーツク総合振興局北見保健所
- ・オホーツク総合振興局北見児童相談所
- ・オホーツク若者サポートステーション
- ・生活困窮者自立センターふくろう
- ・広域相談サロンくらしネットオホーツク
- ・津別町民生委員児童委員協議会
- ・津別町自治会連合会
- ・旭町第3自治会 ぽっと
- ・活汲中央自治会 ぽっと
- ・豊永第3自治会 ぽっと
- ・緑町第2自治会 ぽっと
- ・美幌警察署津別派出所
- ・美幌・津別広域事務組合津別消防署
- ・津別町障がい相談支援事業所
- ・津別町要保護児童対策地域協議会
- ・大阪市立大学大学院生活科学研究科
- ・一般社団法人北海道総合研究調査会

④ネットワーク会議の成果、課題

ネットワーク会議については、具体的な支援困難事例に関して意見交換を行った。

1) 成果

これまで役場や教育機関が主に関わってきた人を切り口として、支援が開始されている事例であり、担当者が複数にわたるが、行き詰まっていた、かつ、影響が多くの人に及ぶ困難事例であった。特に、教育的課題、療育的課題、生活支援課題等を有したものであり、複合的かつ複雑な課題を有するものであった。

それに対する助言としては、世帯から行政機関・教育機関への要望についての適切な対応方法、対象となる家族のアセスメントの視点、支援につなげるための選択肢の提示などがなされたところである。

2) 課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、支援困難事例以外に積極的な会議開催ができなかった。そのため、昨年度取り上げたネットワーク会議の課題を解決することができない状況であった。以下、昨年度も提示された課題について追記する。

i 役場外からの事例の取扱い

本事業の取扱開始時（昨年度のネットワーク会議）から、「ぽっと」の事例をネットワーク会議で議論することが望ましいと検討してきたが、昨年度と同様に、今年度扱う事例についても、役場及び教育機関が抱えている困難事例であった。

一方で、地域住民がアウトリーチを重ね、「ぽっと」自体で扱う事例も少しずつ出てきているところである。加えて「ぽっと」での会議は、本人の同意を必要としない「支援会議」の位置づけとなる予定であり、今後ネットワーク会議等の活用が期待されるところである。

ii 庁内連携の熟度

今年度のネットワーク会議においては、教育委員会との協働で取り組むことができたが、それ以外の部局との連携はあまり見られなかった。次年度から取り組む重層的支援体制整備事業における「参加支援」に関しては、全庁的な取り組みは欠かせない。次年度以降の庁内連携をより一層加速させていくことが期待される。

(2) 「津別町重層的支援体制整備事業」実施計画の策定について

津別町が、令和3年度から実施する重層的支援体制整備事業の実施にあたり、相談支援包括化推進員の配置を含め、津別町社会福祉協議会が委託を受けるため、実施計画の策定について連携して取り組んだ。

①計画策定の趣旨・背景

厚生労働省は、2016（H28）年前後から「地域共生社会の実現」を今後の福祉施策の基本的な方向性として打ち出し、そのための方策の一つとして、「包括的な支援体制の整備」を進めてきた。地域共生社会とは、2016（H28）年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」において提案された理念で、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方である。

また、障がい施策分野においては、かねてより障がいの有無にかかわらず共に生き、共に支え合う地域社会を目指すことが強調されてきており、2011（H23）年7月の障害者基本法改正では、目的規定に「全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する」という文言が加えられている。

包括的な支援体制に関する検討の始まりは、2015（H27）年に厚生労働省が作成した「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」になる。このビジョンでは、「人的支援」を中核とした相談支援を、生活困窮者自立支援制度や地域包括ケア以外の分野にも拡大していくことを提唱したものであった。ここに盛り込まれた包括的な支援体制に関する考え方は、現在に至るまで受け継がれており、2020（R2）年の改正社会福祉法においても、世代や属性を問わない包括的な相談支援やアウトリーチ、参加支援等が位置づけられている。

2017（H29）年の社会福祉法改正によって、市町村に対し、住民に身近な圏域での取組支援と市町村における体制整備について努力義務が課せられ、さらに、実効性のある包括的支援体制を全国的に整備するため、2018（H30）年6月15日

に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針 2018」において、「地域共生社会を実現することにより、急速な少子高齢化、人口減少等による世帯構成構造の変化や個人や世帯の抱える課題の複合化に対応していく」とされた。また、2019（H31/R1）年度に閣議決定された「経済財政運営の改革の基本方針 2019」においては、「断らない相談支援などの包括的支援や多様な地域活動の普及・促進について、新たな制度の創設検討を含め、取組を強化する」との方向性が示されたところである。

こうした流れを受け、2020（R2）年に改正社会福祉法が制定となり、2021（R3）年4月から施行され、複雑化・多様化が進む中での福祉政策の新しいアプローチとして、専門職による対人支援は、「具体的な課題解決を目指すアプローチ」と「つながり続けることを目指すアプローチ」の二つを支援の輪として組み合わせる必要がある、その上で、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」という三つの支援を一体的に行う市町村の新たな事業（重層的支援体制整備事業）を創設することとなった。事業の実施にあたり実施計画書の策定が必要となる。

②位置づけ

第2期津別町地域福祉計画・第5期津別町地域福祉実践計画に定める「総合相談体制の充実」のうち、重層的事業の実施に関する具体的な計画を定めるもので、その内容は各関連計画（介護、障がい、子ども・子育て支援、健康づくりの計画）の内容とも整合している。

③計画の基本方針

地域共生社会は、高齢者介護、障がい福祉、児童福祉、生活困窮者支援等の制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域を共に創っていく社会です。実現に当たっては、この理念を踏まえ包括的な支援体制の整備を進めていきます。

地域住民の複合化・複雑化したニーズに対応するため、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」を実施していきます。

- i 「相談支援」 介護（地域支援事業）、障がい（地域生活支援事業）、子ども（利用者支援事業）、困窮（生活困窮者自立支援事業）の相談支援に係る事業を一体として実施し、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める。
- ii 「参加支援」 介護、障がい、子ども、困窮等各分野で行われる既存の社会参加に向けた支援では対応できないニーズに対応するため、地域の社会資源などを活用して社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。
- iii 「地域づくりに向けた支援」 介護（一般介護予防事業、生活支援体制整備事業）、障がい（地域活動支援センター）、子ども（地域子育て支援拠点事業）、困窮（生活困窮者のための共助の基盤づくり事業）の地域づくりに係る事業を一体として実施し、地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の場を確保する。

福祉有償運送事業

■福祉有償運送事業

- ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送）

登録番号 北北福第 30 号

登録年月日 平成 29 年 6 月 21 日（北運企第 129 号）

登録の有効期間 2019 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日

- ・車両台数 4 台（内車イス対応車 3 台）

共同募金寄贈車

工藤工務店寄贈車（車イス対応車）

津別町無償貸与車（車イス対応車）

24 時間テレビ寄贈車（車イス対応車）

社協活動車（予備車）

- ・運転手 8 名（内事務局 4 名）

- ・登録者数 269 名（令和 3 年 3 月末）

- ・利用実績（令和 2 年度）

4 月	実利用人数	51 名	延利用回数	256 回	利用金額	303,800 円
5 月	実利用人数	47 名	延利用回数	226 回	利用金額	254,040 円
6 月	実利用人数	56 名	延利用回数	259 回	利用金額	266,780 円
7 月	実利用人数	52 名	延利用回数	252 回	利用金額	270,940 円
8 月	実利用人数	53 名	延利用回数	229 回	利用金額	252,500 円
9 月	実利用人数	49 名	延利用回数	224 回	利用金額	259,240 円
10 月	実利用人数	56 名	延利用回数	258 回	利用金額	281,520 円
11 月	実利用人数	57 名	延利用回数	269 回	利用金額	336,080 円
12 月	実利用人数	60 名	延利用回数	260 回	利用金額	293,220 円
1 月	実利用人数	52 名	延利用回数	225 回	利用金額	240,780 円
2 月	実利用人数	55 名	延利用回数	247 回	利用金額	223,100 円
3 月	実利用人数	60 名	延利用回数	280 回	利用金額	297,560 円
合計	月平均	54 名	延利用回数	2,985 回	利用金額	3,279,560 円

- ・行き先別延回数

津別町内 1,942 回 美幌町 765 回 北見市 250 回 網走市 28 回

生活福祉資金貸付事業

北海道社会福祉協議会による貸付（窓口業務は、市町村社協）

■新規案件

- ・生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付 9件（単身1件、世帯8件）
※単身150,000円まで、世帯200,000円まで
貸付金額合計 1,700,000円
- ・生活福祉資金（総合支援資金）特例貸付 5件（単身1件、世帯4件）
※単身1ヶ月150,000円、世帯1ヶ月200,000円まで、最長3ヶ月
貸付金額合計 2,757,000円

■継続案件

- ・生活福祉資金 福祉費（障害自動車の購入経費） 1件
貸付金額 1,505,000円
※平成25年3月25日貸付。平成25年9月26日より償還開始
（最終償還期限日 2021年9月25日）
- ・生活福祉資金 教育支援資金（教育支援費） 1件
貸付金額 1,440,000円
※平成30年3月で貸付終了。平成30年9月26日より償還開始
（最終償還期限日 2032年9月25日）

福祉資金貸付事業

津別町社会福祉協議会独自の貸付

■新規貸付

- ・6名（内2名が2回）8件 貸付金額合計 213,000円
- ・令和2年度返済額合計 235,568円
- ・令和3年3月31日現在の貸付件数11件 貸付残高 328,957円

地域老人懇談会助成事業

地域福祉活動を推進するため、自治会単位で高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成をする。

- ・対象者は70歳以上の方
- ・20名までは1名1,000円、21名から1名500円

自治会名	実施年月日	参加人数	助成金額
1. 活汲中央自治会	9月1日	19名	19,000円
2. 達美町自治会	9月17日	27名	23,500円
3. 豊永第4自治会	9月24日	29名	24,500円
4. 本岐市街自治会	10月8日	23名	21,500円
5. 豊永第3自治会	10月10日	30名	25,000円
6. 東達美自治会	10月12日	9名	9,000円
7. 本町自治会	11月1日	18名	18,000円
8. 旭町第3自治会	12月6日	17名	17,000円
合計金額			157,500円

あんしん電話（緊急通報装置）の推進

・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。

1、令和2年度の設置者

5名（1名解約）
※新規申込みなし

2、装置使用料金の助成

- ・月額使用料 380円
- ・助成金額 1ヶ月180円
- ・10月期（4月～9月）、4月期（10月～3月）の2回助成を行う

3、幹旋機種

シルバーフォンあんしんS

【取り扱い業者】

NTT東日本 北海道 北見支店

サークルぴゅあ例会

- ・精神障害の疾患を持った当事者の会について、ボランティアによる企画・運営が行われており、その活動支援を行った。
- ・開催案内の通知及び参加報告の窓口となる。
- ・行事用保険の加入を行う。
- ・開催経費の支援を行う。

1、例会の開催

- (1) 令和2年11月2日(月) 10:00~12:00 豊永寿の家
参加者6名 ボランティア2名 役場(相談支援員)1名 社協1名 計1名
内容:近況報告、じゃんけんピッチング、
- (2) 令和3年3月22日(月) 10:00~12:00
参加者5名 ボランティア3名 役場(相談支援員)1名(保健師)1名
社協1名 計11名
内容:近況報告、玉入れ、室内ペタンク

2、サークルぴゅあ通信の発行

(1) 発行日

- ①NO.13 令和2年10月20日
②NO.14 令和3年3月8日

(2) 発送先

- ①参加対象者 6名
②ボランティア 3名
③役場担当課 保健福祉課(地域包括支援センター、健康推進係)

給食サービス事業

週2回(火・金)ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

(実績と評価)

- 【年間の利用者数】 実人数 73人 延べ人数 583人 月平均 40人
【年間の食数】 弁当 4,183食(おせちを含めると4,228食)
月平均 348食
【年間のボランティア数】 実人数 22人 延べ人数 622人

月	回数	利用者 実人数	食数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人数
4月	8	42	297	76	20	48
5月	9	41	334	85	20	54
6月	9	45	346	94	20	54
7月	9	45	366	98	20	54
8月	8	46	313	95	21	48

9月	9	49	374	123	21	54
10月	9	50	396	120	20	54
11月	8	49	348	99	21	46
12月	10	54	372	114	21	60
1月	8	55	343	98	20	48
2月	8	53	329	96	19	48
3月	9	54	365	100	19	54
計	102	平均 48.9	4,183	1,198	平均20	622

※年末のおせち 45食

・利用者数が増えてきている。1人が月に3~4回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要がある。

・給食サービス利用者・ボランティア交流会
新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止

ふれあい郵便事業

町内在住の80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月1回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。

1、配布状況

月	自治会配布枚数	郵便局他配布枚数	合計
4月	64	107	171
5月	64	105	169
6月	69	112	181
7月	69	115	184
8月	68	115	183
9月	69	115	184
10月	70	116	186
11月	72	116	188
12月	73	116	189
1月	73	115	188
2月	72	113	185
3月	70	111	181
計	833	1356	2189

2、配布協力自治会（10自治会）

自治会名	枚数	自治会名	枚数
新町	12	緑町第1	53
旭町第2	193	緑町第3	20
旭町第3	95	共和第3	120
柏町	59	共和第4	68
高台町	56	豊永第3	157

3、活動日 第3月曜日 13:00～

介護器具の貸出事業

障がい等により介護器具が必要な方に、ベッド・車イス・エアーマットの貸出を行う。

1、利用状況

	介護用ベッド (月 1,000 円)	車イス (月 500 円)	エアーマット (月 500 円)	利用台数
4月	4	4	0	8
5月	4	4	0	8
6月	4	6	0	10
7月	4	8	0	12
8月	4	7	0	11
9月	4	8	0	12
10月	4	8	0	12
11月	4	7	0	11
12月	4	7	0	11
1月	4	8	0	12
2月	4	6	0	10
3月	4	6	0	10
計台数	48台	79台	0	127

福祉教育の推進

町が窓口となる小中学校の福祉教育の推進のため、プログラム作成や講師派遣の協力など福祉教育の推進を図る。

■津別小学校

- ・対象 小学3年生 16名
- ・日時 令和2年11月26日(木)
- ・内容 『津別町のお年寄りについて知ろう』
授業の中で、「みんなで津別町のお年寄りにできること」をテーマに考えてもらい、一人暮らしのお年寄りに絵手紙を郵送した。

- ・対象 小学5年生 33名
- ・日時 令和2年12月3日(木)
- ・内容 『高齢者疑似体験』
二人一組になり、高齢者役と介助役で疑似体験を行い、高齢者の理解を深めた。

第29回つべつふれあい広場

「ふれあう心を大切に・みんなで支え合う町に」を掲げ関係機関と連携を図り、町内で実施している福祉の情報発信を行います。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は開催を中止とした。

ひとり暮らしの集い

在宅高齢者の社会参加の促進と安否確認のため、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に交流の場として、年2回(7月・1月)例年開催している。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は全回を中止とした。

男の料理教室

概ね60歳以上の男性を対象に年3回(2・3月)男性の生活力向上、料理を楽しむ交流する場を設けることを目的に例年開催している。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は全回を中止とした。

長寿者夫婦の集い

夫婦の年齢合計が140歳以上の世帯の方を対象に、冬場の閉じこもり防止及び安否確認を目的として開催する。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は開催を中止とした。

介護サービス事業

- ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業
利用者数 延 681 人 回数 5,096 回 時間 5315.5 時間
2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴
利用者数 延 3 人 回数 5 回
3. 障害福祉サービス事業
利用者数 延 55 人 回数 184 回

- ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。

1. 安否確認訪問（介護予防把握事業） 83 件（1 件 905 円）
2. 安否確認訪問（認知高齢者見守り事業） 86 件（1 件 905 円）

- ・ミーティング 毎月 1 回
- ・内部研修 毎月 1 回
 - 4 月 ヘルパー支援のグリーゾーン 溝渕主任
 - 5 月 歩行を補助する福祉用具について 村松ヘルパー
 - 6 月 排せつ・入浴を補助する用具・精神障害について
長谷川式をやってみる・タオルストレッチ
溝渕主任・村松ヘルパー
 - 7 月 手すり・内部障害について 村松ヘルパー
 - 8 月 家庭内事故・居宅環境の注意点・リュウマチについて
簡単ストレッチ 溝渕主任・村松ヘルパー
 - 9 月 緊急時の対応（利用者の急変に慌てない） 溝渕主任
 - 10 月 訪問介護の現場で起きる困難事例 溝渕主任
 - 11 月 新型コロナ検収報告・ゴミ分別変更 青山ヘルパー
 - 12 月 訪問記録システムのソフトウェア化 ND ソフトウェア
 - 1 月 感染症の予備知識・防護服試着体験 溝渕主任
 - 2 月 重層的支援体制整備事業 山田 英孝 氏
 - 3 月 新年度改正のゴミ分別について・令和 3 年度内部研修について

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	8	8	8	7	9	8	9	8	8	9	9	8	99
	回数	30	29	32	28	31	33	30	28	28	34	32	38	373
	時間	30	29	32	28	31	33	30	28	28	34	32	38	373
要支援 1	人数	10	9	9	9	9	8	7	6	5	6	7	7	92
	回数	62	51	54	58	44	46	42	33	33	34	42	46	545
	時間	62	51	54	58	44	46	42	33	33	34	42	46	545
要支援 2	人数	8	7	9	9	7	8	8	10	10	9	9	9	103
	回数	49	45	57	67	53	56	58	66	63	51	59	60	684
	時間	49	45	57	67	53	56	58	66	63	51	59	60	684
介護1	人数	19	18	18	18	22	22	21	20	20	20	20	21	239
	回数	150	154	157	205	197	202	199	185	185	131	144	166	2075
	時間	172.5	173	172	217	209	215.5	212	192	194	149.5	154	185.5	2246
介護2	人数	8	8	9	9	9	9	9	10	10	10	9	9	109
	回数	84	91	61	87	82	81	103	101	96	98	111	125	1120
	時間	94	105	70	91	83.5	80.5	102.5	105.5	99.5	100.5	114	125.5	1171.5
介護3	人数	2	3	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	34
	回数	14	17	39	38	44	25	25	22	16	14	16	18	288
	時間	13	16	39.5	37	41.5	24	25.5	22.5	16.5	14.5	18	18.5	286.5
介護4	人数				1	1	1							3
	回数				4	2	1							7
	時間				3	2	0.5							5.5
介護5	人数				1			1						2
	回数				3			1						4
	時間				3			1						4
合計	人数	55	53	57	58	61	59	58	57	55	56	56	56	681
	回数	389	387	400	490	453	444	458	435	421	362	404	453	5096
	時間	420.5	419	424.5	504	464	455.5	471	447	434	383.5	419	473.5	5315.5

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護2	人数									1				1
	回数									1				1
介護4	人数							1	1					2
	回数							1	3					4
合計	人数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	回数	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H23年	14,887,000	431,250	15,318,250
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R2年	22,124,360	72,393	22,196,753
H22年	13,789,360	129,380	13,918,740				0